



「JA自己改革に関する 組合員アンケート調査」 集計結果

当JAが行っている事業と自己改革の取り組みなどに対する皆さまの評価を確認するため、「組合員アンケート調査」を平成30年2月から3月にかけて実施しました。その結果について、ご報告いたします。

アンケートにご協力いただいた組合員の皆さまには、心よりお礼申し上げます。

今回実施したアンケート結果や組合員の皆さまから寄せられるご意見・ご要望等を反映し、より信頼され、地域の農業や暮らしを支える組合であるために、自己改革に取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

- 《 対 象 》 組合員1,500名（正組合員750名、准組合員750名）
※「コンピュータによるランダム関数抽選法」により無作為に選定
- 《 期 間 》 平成30年2月20日～3月16日
- 《 方 法 》 職員の訪問による配布・回収
- 《 回 収 率 》 73.5%（正組合員77.5%、准組合員69.6%）

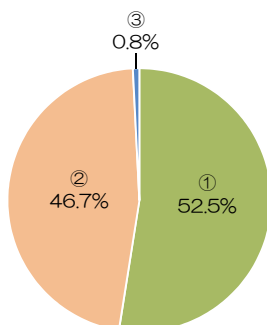
アンケート結果

※各設問の“不明”の回答には、マークシートの読み取り不可・無回答が含まれます。

《ご回答者様について》

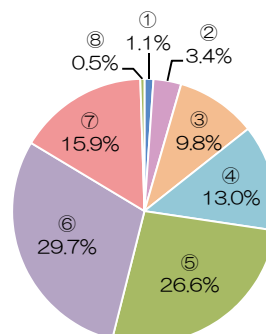
（１）組合員属性

- ①正組合員
- ②准組合員
- ③不明



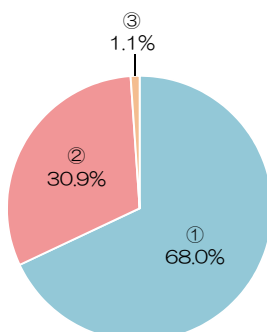
（２）年代

- ①29歳以下
- ②30歳代
- ③40歳代
- ④50歳代
- ⑤60歳代
- ⑥70歳代
- ⑦80歳代
- ⑧不明



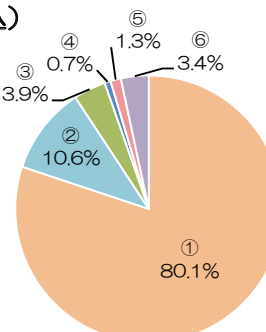
（３）性別

- ①男性
- ②女性
- ③不明



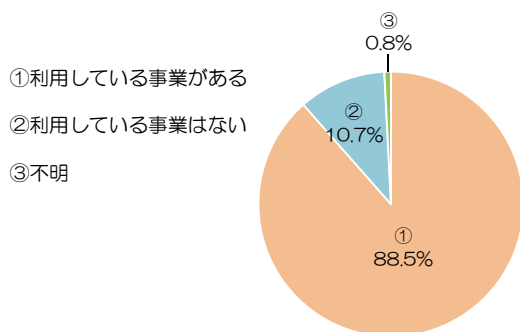
（４）農畜産物販売金額 （過去1年間/税込）

- ①なし
- ②100万円未満
- ③100万円～300万円未満
- ④300万円～1,000万円未満
- ⑤1,000万円以上
- ⑥不明



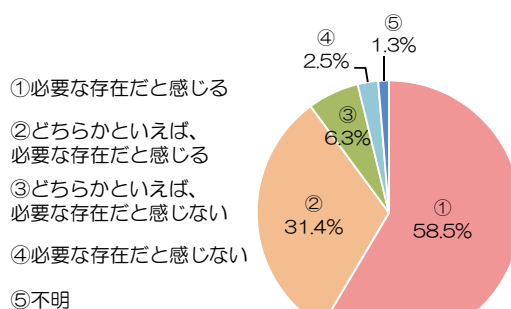
《JAの総合事業について》

（１）あなたが利用しているJAの事業（これまでに利用した事業を含む）はありますか？



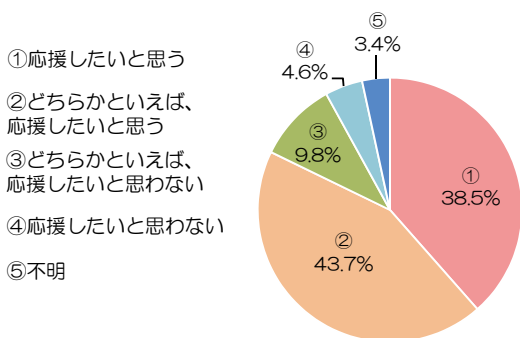
◆ 「JAの事業を利用している（利用したことがある）」と回答した割合は、県下・全国平均よりやや低い結果となりました。

（２）JAは地域農業や暮らしにとって必要な存在だと感じになりますか？



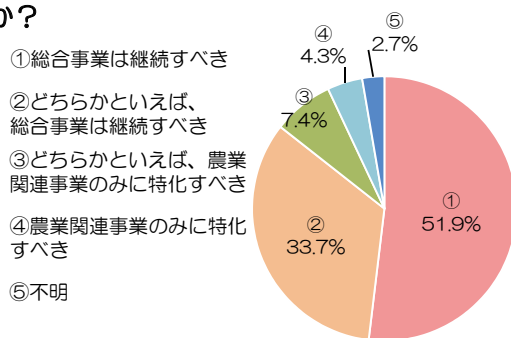
◆ 肯定回答率（必要、どちらかといえば必要）は、県下・全国平均よりやや低い結果となりました。

（３）地域の農畜産物を食べることや、地域農業の体験などを通じて、JAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思いませんか？（准組合員のみ回答）



◆ 肯定回答率（応援したい、どちらかといえば応援したい）は、県下・全国平均よりやや低い結果となりました。

（４）JAは、農業関連事業（営農指導事業、農畜産物販売事業、生産資材購買事業など）や、信用事業・共済事業など様々な事業を行っていますが、このJAの総合事業について、どのようにお考えになりますか？



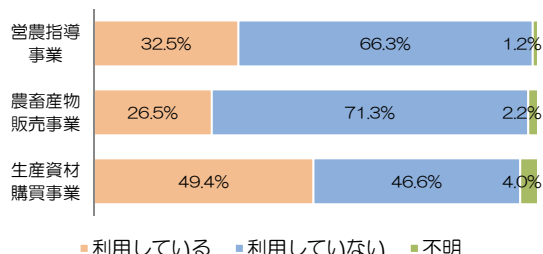
◆ 肯定回答率（継続すべき、どちらかといえば継続すべき）は、県下平均並み・全国平均よりやや低い結果となりました。

◆ 「JAの必要性」「農業振興の応援」「総合事業の継続」に対する肯定回答率は80%を超えていますが、県下・全国平均よりやや低い結果となっており、自己改革の取り組みを含めて、より一層の努力が必要であると考えています。



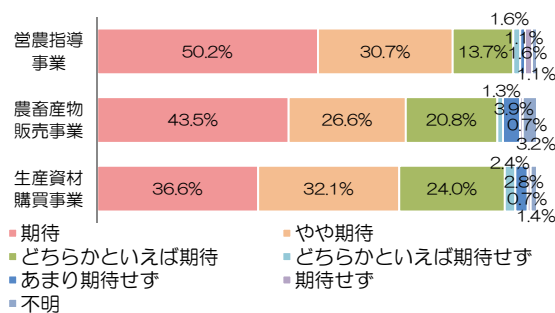
《農業関連事業について(営農指導事業・農畜産物販売事業・生産資材購買事業)》 ※正組合員のみ回答

(1) 利用状況(過去1年間)



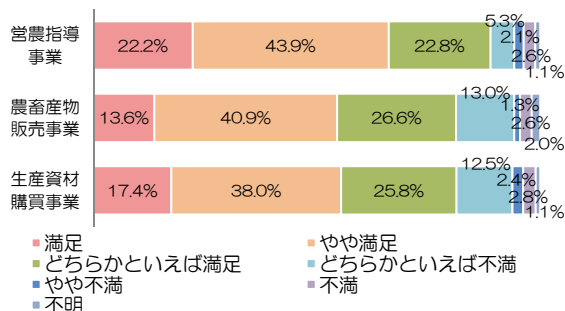
- ◆ 「利用している」と回答した割合は、県下・全国平均より低い結果となりました。

(2) 期待度(現状への満足度にかかわらず、しっかり取り組んでほしいとお考えの程度)



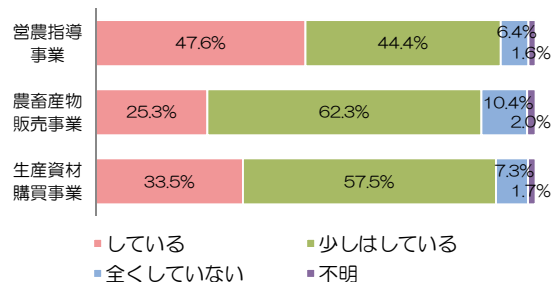
- ◆ 肯定回答率(期待、やや期待、どちらかといえば期待)は、県下・全国平均並みの結果となりました。

(3) 満足度



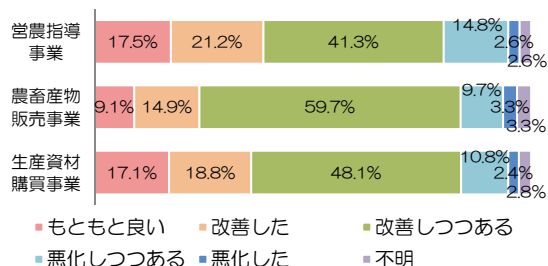
- ◆ 肯定回答率(満足、やや満足、どちらかといえば満足)は、県下・全国平均よりやや低い結果となりました。

(4) あなたのJAは各事業において、よりよいサービスを提供できるように努力していると思いますか？



- ◆ 肯定回答率(努力している、少しはしている)は、県下・全国平均よりやや低い結果となりました。

(5) 3年前と比べて、利便性、サービス、メリットなど事業内容がどう変わりましたか？



- ◆ 肯定回答率(もともと良い、改善した、改善しつつある)は、県下・全国平均よりやや低い結果となりました。

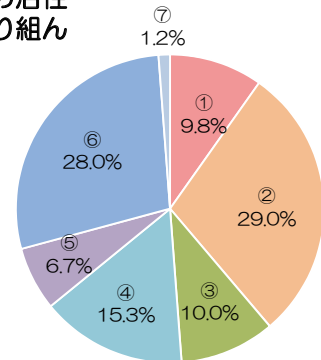
- ◆ 利用状況について、「利用している」正組合員の割合が県下・全国平均より低い結果となり、担い手・集落営農組織への農地集積が進んでいることが要因であると考えています。
- ◆ 期待度の肯定回答率に比べ、満足度、努力に関する肯定回答率がやや低く、組合員から期待いただいておりますが、まだまだ努力不足であるという評価と受け止めています。
- ◆ 3年前との比較について、肯定回答率が各事業80%を超えていますが、今後も各事業にて改善に努めていきます。

《自己改革の認知度について》

あなたのＪＡは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」などを目標に地域農業の振興や地域づくりに向けた自己改革に取り組んでいます。

こうしたＪＡの取り組みをご存知ですか？（複数回答可）

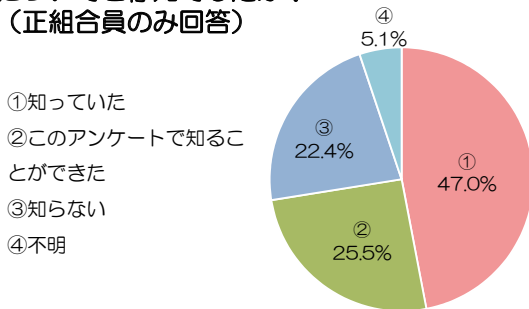
- ① 総代会、集落座談会、生産部会の会合などで知った
- ② パンフレット、広報誌、新聞、テレビ、ホームページなどで知った
- ③ イベント（ＪＡまつり、ローン相談会など）やファーマーズマーケットで知った
- ④ ＪＡの役職員から直接聞いて知った
- ⑤ そのほかの方法で知った
- ⑥ 全く知らない
- ⑦ 無回答



- ◆ 「全く知らない」と回答した割合が県下・全国平均よりやや高い結果となり、自己改革の取り組みに関する“見える化”・ＰＲが不足していたと考えています
- ◆ 広報誌みずほ４月号よりＪＡ自己改革の取り組みについての特集を掲載してきており、今後も広報誌を中心として自己改革の取り組みについて積極的に発信していきます。

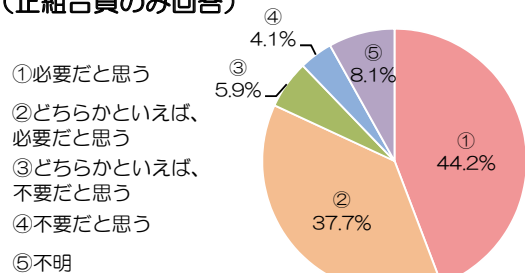
《准組合員制度について》

（１）あなたは、准組合員の事業利用の意義についてご存知でしたか？（正組合員のみ回答）



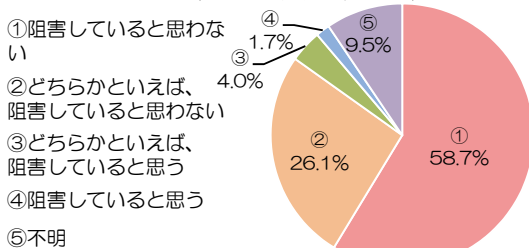
- ◆ 「知っていた、このアンケートで知ることができた」と回答した割合は、県下・全国平均よりやや低い結果となりました。

（２）准組合員のＪＡ事業利用は、正組合員（農業者）にとっても必要だと思いますか？（正組合員のみ回答）



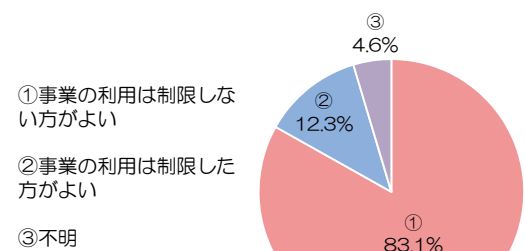
- ◆ 肯定回答率（必要、どちらかといえば必要）は、県下・全国平均並みとなりました。

（３）准組合員のＪＡ事業利用が、正組合員（農業者）が利用する農畜産物販売事業や生産資材購買事業の改善や拡大を阻害していると思いますか？（正組合員のみ回答）



- ◆ 肯定回答率（阻害していると思わない、どちらかといえば思わない）は、県下・全国平均並みとなりました。

（４）准組合員のＪＡ事業利用を制限されることについてどうお考えですか？



- ◆ 肯定回答率（制限しない方がよい）は、県下平均より高く、全国平均並みとなりました。

- ◆ 准組合員の事業利用の意義について「知っていた」と回答した正組合員の割合が県下・全国平均より低い結果となりましたが、「必要性」「阻害性」「利用制限」に対する肯定回答率が県下・全国平均並みとなっており、准組合員の事業利用について組合員の皆さまのご理解があるものと考えています。

